

平成 31 年 3 月 1 日  
観 測 部  
地 球 環 境 ・ 海 洋 部

## 2 月の天候

2019 年（平成 31 年）2 月の日本の天候は、気温が全国的に高く、沖縄・奄美では記録的な高温となりました。北・東・西日本日本海側の降雪量はかなり少なく、西日本日本海側では記録的な少雪となりました。降水量は、北日本と東日本日本海側で少なく、九州南部と沖縄・奄美で多くなりました。

2019 年（平成 31 年）2 月の天候の特徴は以下のとおりです。

○気温は、全国的に高く、沖縄・奄美では記録的な高温となりました。東・西日本と沖縄・奄美では暖かい空気に覆われやすく、月平均気温は高くなりました。特に、沖縄・奄美では、月平均気温の平年差が+2.7℃となり、2 月として最も高くなりました（統計開始は 1946 年）。また、北日本でも下旬は暖かい空気に覆われて顕著な高温となり、月平均気温が高くなりました。

○北・東・西日本日本海側の降雪量はかなり少なく、西日本日本海側では記録的な少雪となりました。寒気や発達した低気圧の影響は小さく、北・東・西日本日本海側の月降雪量はかなり少くなりました。特に、西日本の月降雪量は平年比 1%で、2 月として最も少くなりました（統計開始は 1961 年）。

○降水量は、北日本と東日本日本海側で少なく、九州南部と沖縄・奄美で多くなりました。北日本と東日本日本海側では、寒気や発達した低気圧の影響を受けにくかったため月降水量は少なく、東日本日本海側ではかなり少くなりました。一方、九州南部と沖縄・奄美では、暖かく湿った空気の影響で、月降水量は多くなりました。

別紙（概況、統計値等）[PDF 形式:503KB]

[https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/stat/tenko1902\\_besshi.pdf](https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/stat/tenko1902_besshi.pdf)

問合せ先：観測部 計画課情報管理室 担当 道城(観測値や記録について)  
電話 03-3212-8341 (内線 4156) FAX 03-3217-3615  
地球環境・海洋部 気候情報課 担当 竹川(天候の解説について)  
電話 03-3212-8341 (内線 3154) FAX 03-3211-8406